

令和2年10月7日

佐藤理夫 共生システム理工学類 教授 化学工学会フェローに

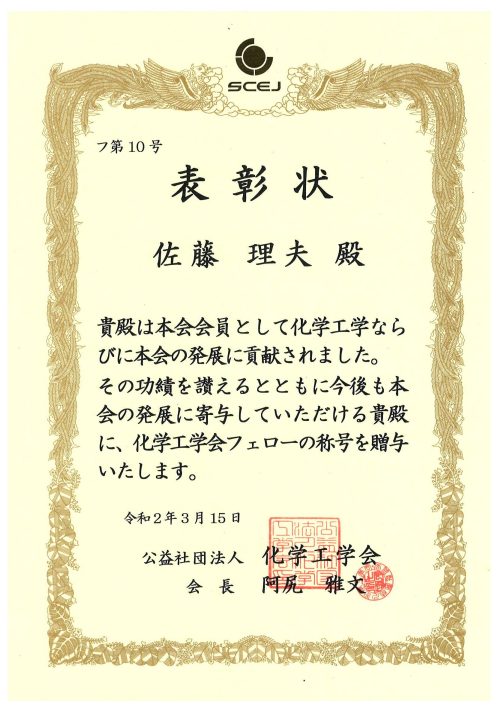
公益社団法人化学工学会より、佐藤理夫教授にフェローの称号が授与されました。化学工学ならびに学会の発展に貢献し今後も寄与する個人を表彰する制度で、2019年度には8名が選出されました。化学工学的手法を活かした福島県再生可能エネルギー推進ビジョンを始めとする方針策定や、多数の復興事業への支援が評価されました。

公益社団法人化学工学会より、佐藤理夫（さとうみちお）共生システム理工学類教授（学類長・60才）にフェローの称号が授与されました。授与式は3月の学会期間に予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響で秋季大会（9/24-26）に延期となりました。

化学工学は化学プロセスの開発・設計・操作を目的として発展してきた学問です。化学工学会は1936年に「化学機械協会」として発足した歴史ある学会で、約7000名（法人会員含む。2020年2月末現在6,946名）の会員を有する公益社団法人です。化学工学ならびに学会の発展に貢献し今後も寄与する個人を表彰するフェロー制度を2017年度に新設し、2018年度に7名・2019年度に8名が選出されています。

製造プロセスや地域資源循環を定量的に解析する化学工学的手法を活かし、福島県再生可能エネルギー推進ビジョンを始め県内の多くの市町村の「環境・エネルギー・産業振興」の方針策定に関与し、多くの復興事業推進に関わり、学会内外に福島の現状を発信してきたことが評価されました。

福島県内を中心に活動しておりましたが、全国的な組織から表彰されたことに驚きと喜びを感じております。今後も、私を育ててくれた福島の「復興・発展」のために努力致します。



（お問い合わせ先）

共生システム理工学類 教授（学類長）佐藤 理夫

電話：024-548-8314

メール：msato@sss.fukushima-u.ac.jp